



おにぎり通信

2021年1月16日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷、銀座、日比谷、秋葉原、日本橋、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

川崎市は、缶・古紙などの資源ゴミ持ち去りを禁止する条例を作ることを目指しており、先月、アルミ缶を集めるホームレスから直接意見を聞く集会を開きました。参加者は、「アルミ缶集めで100人ほどが食いつないでおり、まさに死活問題。別の対策を検討すべき」と訴えました。東京では、中央区や港区などは、資源ゴミ持ち去りを禁止する条例がある一方で、千代田区や台東区、新宿区などは、こうした条例がありません。川崎市は、「市民の安心安全を前提とし、路上生活者の声を参考に、自立支援策も含めて検討していく」として、今後も集会を開く予定となっています。

福祉行動は、しばらくお休みします。

お困りの方は、おにぎりを配る時に、お声がけください。

病院や生活相談等で、福祉事務所に行くことを希望される方は、おにぎりをお渡しに伺った際に声がけ下さい。毎週土曜日の訪問活動の時に声がけ頂いた場合、翌月曜日に福祉事務所まで同行します。

中央区福祉事務所・中央区築地1-1-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南1-2-1 千代田区役所3階

おにぎりを包むラップや読み終わった通信は、放置せずゴミ箱へ

おにぎりは、お1人1個で、その日のうちにお召し上り下さい



四ツ谷おにぎり仲間 千代田区麴町6-5-1 聖イグナチオ教会
 連絡先 080-7967-8672 (連絡可能時間 毎週土曜日午後3時~6時)

ほうじょうき
【方丈記】

「川の流ながれは絶たえず、しかも元もとの水みずではない。そこに浮うかぶ泡あわは、消きえてはまたでき、長ながく留とどまることはない。流ながれに弄もてあそばれ、生うまれては死しんでいく人ひとの運命うんめいやその住すみ家かも、またこのようなものだ。」といった書かき出だしで始はじまる「方丈記」は、鴨長明かもちょうめいによる鎌倉時代かまくらじだいの作さくです。

「徒然草つれづれぐさ」「枕草子まくらのそうし」とならぶ「古典日本三大随筆こてんにほんさんだいすいひつ」に数かずえられます。現在のコロナ禍げんざいと同じように、方丈記かが書かかれた当時とうじも、多おほくの災難さいなんが起おこりました。10年ねんほどの間あいだに、大おお火事かじ、大おお風かせ、飢饉ききん、大おお地震おじしんが次々つぎつぎと発はっ生せいし、作さく品ひんの多おほくの部ぶ分ぶんは、その悲ひ惨さんな状じょう況きやうをえがく事ことに割さかれています。鴨長明かもちょうめいは、自みらすのしゅ世っせ争あらそいやぶに敗やぶれたこともあって、心しん配ばい事ごとや苦くるしい事ことばかりで住すみ難がたい世よの中なかに無む常じょうを感じかん、京きやうの都みやこでかの職しょくと家いえを捨すてて、山やまに引ひき籠こもります。方丈記ほうじょうきは、そかこで書かかれたもので、その題名だいめいは、自じ分ぶんで作つくり、山やまで住すんでそまついた粗末こやな小じょう屋やが、1丈四方しほう（6畳じょうぐらい）のおほきさだゆらいったことに由来らいします。

山やまにうつ移のちった後こころの心そく持せちを、俗世すに住ときんでくらいた時のと比くらべて、このうの述べています。「この世よの中なかは、心こころの持もち方かたひとつで、苦くるしい世よの中なかにもなり、楽たのしい世よの中なかにもなる。心こころが安やすらかでかねなければ、どれだけお金かねがあり立り派っぱな家いえに住すんでないても何なんもくらず、苦くるしい暮くらしをしなければならない。今いまこうして寂さびしい山やまの中なかへ来きてたひとまだ一せま間いえしかない狭せまい家いえに住すんでこころいるが、心こころは実じつに平へい安あんで、毎まい日にちを非ひ常じょうに楽たのしく暮くらしている。」

「山やまの中なかに一ひとり人すで住たのむ楽さびしさ、寂そくしさなどは、俗世あじでは味ことわう事ことのできない深ふかい味あじわいのあるものであって、本ほん当とうに経けい験けんした人ひとでなければこの味あじは分わかるものでない。この味あじは、出しゅ世っせするよりも金かね持もちになるよりも、私わたしにとつて数すう倍ばい良よい事ことであり楽たのしい事ことである。」

人ひとは何なにを苦くるしみ、何なにを楽たのしみ、何なにをなすべきか。鴨長明かもちょうめいは、その答こたえは永えい遠えんの謎なぞであるとしました。そして、そうした事ことへの想おもいを捨すて、自し然ぜんの移うつろいを味あじわいながら、あるがままの生せい活かつを送おくりました。